

一般質問

6月定例会において行われた一般質問について概要をお伝えいたします。

質問議員……………16名

※一般質問とは…

一般質問とは、市の行政全般にわたり、その執行状況や将来の方針などについて報告、説明を求め、疑問を質すものです。



北野 唯道

Q 市営住宅の管理室数と入居状況について

A 市営住宅の室数は、現在18団地95棟で1002室となっております。また、入居の状況については、白河534室で入居率82・28%、表郷81室で87・10%、大信114室で60・00%、東52室で91・23%全体では781室で78・97%となっております。

Q すでに市営住宅を退去した滞納者は何人いるか、また滞納額について

A 退去した滞納者は、62人で滞納額は3千138万9250円となっております。これは、平成9年度から平成29年度までの21年間の滞納額を積上げたものである。

Q 滞納額について

A 滞納世帯数は150世帯で滞納額は1億134万138円となっております。



Q 戊辰戦争150周年記念事業について

A 記念事業の主な内容については、7月14日コミネスを会場に会津若松市、二本松市などの東軍や萩市、鹿児島市など西軍の市長をはじめ合同慰霊祭を開催する。



大花務

Q 国道294号バイパス事業について

A 白河バイパスは、茨城県取手市と会津若松市を結ぶ道路で東日本大震災以降「震災復興事業」として採択された事業である。阿武隈川にかかる仮称「新田町大橋」やJR東北本線の「跨道橋架け替え工事」や仮称「五郎窪トンネル工事」が福島県において平成30年代前半の供用開始を目指す。

Q 白河市で、5年以内に建設予定の公共施設名について

A 白二中の校舎、体育館及びびールと、病児保育施設である。

Q 道の駅の進捗状況は

A 近隣自治体での設置の動きや各方面から議論を進めていく。

Q 白河市イクボス宣言について

A 本市では、平成28年12月に県内市町村に先駆けて取り組んでいるが、その成果等について伺う



根本建一

A イクボスの役割は、子育て、介護、地域貢献活動など、出来る限り支援しながら働きやすい職場環境をつくるべく行く上で大変重要なものであり、今後も職員が多様な働き方が出来る職場環境の整備により一層努めていく。

Q 農業政策について

A 本市におけるGAPの取得状況について伺う

A J-GAPが3件、G-GAPが1件、F-GAPが1件の合計5件の認証を取得している。今後も農業者が認証取得に取り組みやすい環境を整えていく。

Q 農業水利施設の整備について伺う

A 各種補助事業、市独自の「結支援事業」など活用し、引き続き整備を進めていく。

Q 交通安全鼓笛パレード編隊について

A 5月29日に小学生児童約115人が参加し白三小から中町交差点までの約1.5kmをパレードした。プラカードを先頭に総指揮者、トランペット、トロンボーン等金管楽器隊、その後ろに鍵盤ハーモニカ隊、副指揮者、リングバトンやカラーガード等の編隊である。



〈交通安全鼓笛パレード〉





緑川 掇生

Q 新潟でおきた女子児童の事件を受け、あらためて子ども達の見守りを問う

A まず、見守り隊や地域住民の存在をどのように考えているのか

見守りのおかげで児童生徒が事件や事故に巻き込まれることなく、安全な登下校ができています。

Q あらためて見守りの協力をお願いすべきではないか

A 今回の事件を重く受け各PTAや町内会等に協力を依頼していく。



〈見守りの様子〉

Q 防災行政無線を活用し見守りを促すのは有効と思うが

A 他自治体では、登下校に安全を呼びかける事例もある。関係部署と協議していく。

Q 今後どうしていくのか

A 児童生徒の命を守ることは最重要課題。学校、保護者、地域、行政が連携し一丸となり安全確保に取り組んでいく。



A 見守りボランティア人数が1200人であることや、活動内容や活動場所を把握している。

Q 活動状況など現況を把握しているか



深谷 政男

Q 団塊の世代、高齢者の離農に伴う後継者問題について伺う

A 人・農地相談センターを設置し、農地の斡旋、農業研修の紹介等の相談体制をとっている。今後都内で開催される新規就農相談会への参加や地元高校への訪問活動を通して就農を働きかける。さらに組織化の推進、会社法人の設立を支援し、多様な担い手の育成に努める。

Q 道路側溝の整備件数、側溝に起因する事故内容、今後の整備方針について伺う

A 毎年100件弱の修繕を行っている。事故はパンク、側溝蓋の跳上げによる車の損傷である。引き続き通学路、生活道路の安全確保を推進する。

Q 関本沼線（玉坂工区）の今後の事業計画について伺う

A 平成25年度より総延長350m区間の改良を進めており、29年度までに用地の取得、物件の補償が完了し、一部水路整備に着手した。本年度も工事を実施し、33年度の完了を目標としている。





室井伸一

Q 白河市文化交流館コミネスで避難訓練コンサートを行うことについて

A 一般的な避難訓練については、消防法に基づき毎年8月と2月に行っている。緊急事態発生時には、特に適切な対応が求められることから、日頃から防災意識を高め、訓練を繰り返し実施することが必要であると考えている。訓練については、コミネス職員だけでなく来場者などの関係者すべてが参加することが重要と考え、今年度は映画の上映に合わせて、実践的な避難訓練を計画している。



Q 熱中症対策の一つとして熱中症指数計を小学校・中学校に配備することについて

A 現在、市内の小学校5校、中学校4校で熱中症指数計を設置している。熱中症指数計を設置することで、気温や湿度の変化による熱中症の危険度を段階別に細かく把握でき、熱中症事故を未然に防ぐことが容易になるので、今後、全ての小学校・中学校への配備を進めていく。



〈熱中症指数計〉

Q 保育士不足について、深刻であることは理解している。4月1日現在の待機児童数と待機児童解消対策について伺いたい。

A 4月1日現在の待機児童数は41名で昨年より4名増となっている。現在、保育士不足と併せて園舎の問題等もある。保育士については、提案と同様の制度が県及び市にあるので、今後は希望者が認知しやすいよう工夫していく考えである。



Q 犬猫の不妊去勢手術助成の調査研究について、どのような結果が得られたか

A 犬猫の不妊去勢手術助成制度があるのは、県内でいわき市・矢吹町であり、本年度から郡山市が開始したと聞いている。その他の市町村で検討している自治体はない。

Q 福島県の犬猫殺処分は全国1位であり、東京都全体の10倍以上である。処分数減少には不妊去勢助成制度は有効な施策だと思いがどうか

A 原則、繁殖制限は所有者の責任だと考えている。



大竹功一



佐川京子

Q まちづくりについて

白河は歴史の町であり、歴史的資源の史跡や建造物を活かした周遊コースをつくり、小・中学生の修学旅行先を選んでもらえるように取り組んではどうか

A 本市には「仁」の精神など、

小中学生に知ってほしい史跡やストーリーがあり、魅力にあふれている。教育旅行の受け入れは、本市を認知してもらうばかりでなく、観光産業にも大きな効果が期待できるので、県や関係団体と連携し検討したい。



Q 公共施設の整備統合について

歴史民俗資料館と集古苑の集約について

A 二つの施設は異なった役割を

持っているため、今後役割に沿った運営に努めていく。

Q 武道館の建替えについて

築47年経過し、老朽化し道路も狭くて立地環境も良くないので、建て替えについては、駐車場を含む敷地の広さや交通の利便性、他の体育施設との位置関係など総合的に考え方向性を探っていく。



玉川里子

Q 南湖公園周辺の景観形成と今後の活性化対策について

屋形船等の提案については、南湖の魅力を引き出すとともに、賑わいを創出する有効な方策と考える。法令上の規制や運営主体など課題も多いが実現の可能性を探っていく。



〈南湖公園〉

Q 精神障がい者が年々増加のことであるが、5年前と比べて

どのようなになっているのか

A 平成26年は290人で、30年は399人となっており、109人が増加している。

Q 心の病について

市では、こころの窓口を設置、医師による心の健康相談や医療機関での受診等に努めている。



Q 県道11号白河く石川線の全線

見直しと大塚目地区から双石地区の歩道整備の早期実現について

A 地域からの要望もあり、市でも安全で安心な通行のため、側溝や歩道の整備が必要と認識しており、早期実施されるよう強く県に要望する。



藤田 久男

Q 空き家対策について

空き家の推移の分類はどのようになっているか

A 宅地建物取引業協会と空き家

媒介等に関する協定をし、またシルバー人材センターと管理に関する協定を締結している。

Q 小規模学校と複式教育について

小規模学校の外国語先生の確保はどのような対応をされているか

A 本市複式学級2学級あるが、

県と市により教員を配置しており、複式学級は解消されている。

Q 既存の空き家、空き地バンクの対応について

A 平成27年度に調査を実施した

991件の空き家のうち、バンク運用や解体により29年度末までに160件解消された。空き地バンクの対応はまだされていない。

Q 今年度始めた外国語授業の評価について

準備期間で今年度から2年間は外国語活動として数値評価は行わない。

しかし、平成32年度から全面实施で英語科となり評価を行う。今後は研修を通してよい評価のあり方を指導したいと考えている。



阿部 克弘

Q 日本版DMOへの登録について

A DMOは消費動向や満足度等の

データに基づいた戦略で地域の稼ぐ力を引き出そうとするものである。本市は2カ年計画で「観光振興計画」を策定し白河の自然や歴史、文化等の資源を観光物産協会と連携を図り「白河版DMO」の登録に取り組んでいく。

Q タバコの吸殻の「ポイ捨て」について

A 敷地内の9箇所にポイ捨て防止の看板を設置するが徹底されていない。

Q 白河市総合運動公園でのタバコの喫煙について

A 現在、体育館施設のみを禁煙としている。敷地内全面禁煙か喫煙ブースを設けるか対応が必要であると考えている。

Q 今後のタバコ対策スケジュールについて

A 現在、健康増進法の一部改正の審議中で望まない受動喫煙防止を図り、施設等の区分に応じ東京オリンピック・パラリンピックまでに段階的に施行される。法案成立後ガイドライン等に沿って有効なタバコ対策に取り組みたい。



〈ポイ捨て防止看板〉



佐久間 進

Q 白河市民第九演奏会について

A 徳島県鳴門市で第九が初演され100周年にあたり、市民から第九を演奏したいという声があり、松下功東京藝大副学長の支援により、11月3日に開催する。地域全体の文化力を高め、心に潤いのある地域づくりに貢献したい。

Q 白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券支援事業の目的と効果について

A 保護者の経済的負担を軽減するため、0歳児の保護者を対象に1人当たり3万円のクーポン券を贈呈する。目に見える支援で保護者が子育ての支援を受けていると高い評価である。今後子どもを安心して産み育てられる環境づくりを進める。



〈白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券〉

Q 18歳投票の実績と啓発活動について

A 参議院選挙44・53%、衆議院選挙51・68%、高校生世代では参議院選挙61・88%、衆議院選挙57・51%と高い投票率であった。引き続き主権者教育に努める。



佐藤 正則

Q 70歳以上の方の特典「ふれあいパス」の恩恵についての不平等意見に対し市としての対応はどうか

A 新たな交通システム導入の環境として、本年度はタクシー利用料の一部補助の実証実験を行う。



Q コミュニティバスの日曜・祝日運行実証実験の結果と、今後の日曜・祝日運行の計画についての考えは

A 中循環コースは270便、利用者数が2544人、南循環コースは270便、利用者数が2223人。8月上旬を目標に、社会実験を実施、結果などを検証し今後の方向性を検討していく。

Q 免許証自主返納者に、タクシーの運賃補助をできないか

A タクシーの運賃補助の実証実験を予定、検証結果から事業として検討していく。

Q 保育士不足を解消するための保育士等賃金改善事業について説明を求める

A 嘱託保育士等の処遇改善を図り、市立保育園・幼稚園の保育士等の確保を目指し、昇給を5年ごとから毎年に変更するとともに、割増賃金2ヶ月分支給、結果嘱託保育士等月平均3万6千円の増額。



石名国光

Q 市民が親しめるスポーツ推進

計画が策定されスポーツ振興に対する市長の思いを伺う

A スポーツが日常生活の中に溶

け込み、子どもから高齢者まで、より親しめるようライフステージに応じた環境を整え心身とも健康で文化的な生活を営み、白河市の活性化につながるよう考えている。

Q

南湖を行楽地にする仕掛け(豊かなロケーション・南湖17景の現代版作り)の活用で賑わう創出について伺う

A

那須連峰や関山の借景が見える遊歩道には、17景の歌碑があり四季を通じて親しまれ、健康づくりのための活用やスタンプラリーなど自然に親しみながら賑わいの創出に努める。

Q

少子高齢化と人口減少が進行していく時代において、最も大切な地域コミュニティの町内会を活性化するためには、行政としても何らかの対策を講じる必要があるのではないかと思うが市長の考えをお伺いしたい

A

これからの地域づくりにあたっては、町内会が中心となっていく地域づくりへの支援はもとより、行政と町内会の連携をさらに深め、市職員も地元の町内会活動に、より積極的に参加するよう奨励し、「協働による地域づくり」を進めていく。

Q

全国の市町村が移住・定住に取り組んでいる中で、本市の特色した魅力はどう考えているのか。そして、その情報をどのように発信しているのか。私はこの問題を3年間訴え続けてきたが、具体的な方針をはっきり答えていただきたい

A

ゴルフ場の立地条件を活かし、ジュニアゴルフの育成を軸とした移住・定住を促進することとは、地域資源の活用という面では効果的と考えているが、現在、ゴルフアーク育成の教育環境など、受け入れ体制が整っていないなどの課題もある。引き続きゴルフ場については、地域資源のひとつとして活用しながら、移住・定住の促進を図っていく。

A

樹木管理は、危険木伐採・剪定・松くい虫防除を行っている。松の補植は植生管理の方針・手法等を検討していく。水質保全是、池干や水草除去を行い、継続して実施し、水生植物の保全と、ヒシの抑制や外来種駆除に努める。

Q

南湖の樹木と水質、貴重な水生植物の保全対策を伺う



岩崎洋一





深谷 弘

Q 平成30年度国保税について

3月定例会で議決された平成30年度国保税を、これまでの方式（6月本算定方式）で検証する必要がある。繰越金、国保基金残高はいくらになるか

A 繰越金は4億9004万8千円、国保基金残高は8億529

9万9千円である。

Q

検討懇談会への公費支出問題

正式な手続きを経ない要綱は無効であり、それに基づく会議（検討懇談会）は無効と考えるのが一般社会の常識である。会議に参加した委員（市民）への謝礼に公金を支出したのは間違いであり、きちんとした対処を求める。

A

議会において要綱が無効と判断された場合、事実関係を確認し、法令に基づき適切な対応をしていきたい。

A

国保税率の高騰を抑えることのほか、特に保健事業に使っていききたい。



請願・陳情・意見書

今定例会において審査された請願、陳情、意見書についてその内容と結果についてお知らせいたします。

請願議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
請願2 請願者 福島県教職員組合 中央執行委員長	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願 平成31年度以降も全額国庫で支給する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を国に要望する意見書を提出すること。	採択 (全会一致) 関係機関に意見書を提出しました。
請願9 請願者 全日本年金者組合 白河支部長	年金制度の改善を求める意見書提出の請願 年金制度のいっそうの充実を図ること。 ①国際水準である年金の毎月支給に道を開く法制度を実現すること。 ②年金支給開始年齢のこれ以上の引き上げはしないこと。	不採択 (賛成少数) <不採択の理由> 毎月支給のメリットが不明確である。

陳情議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
請願1 陳情者 郷渡自治会長	白河市関辺上ノ代地内道路の舗装化に関する陳情 白河市関辺上ノ代地内道路の舗装化に向け着手すること。	不採択 (賛成少数) <不採択の理由> 道路整備については、市全域からの陳情の整合性を踏まえ、必要性や緊急性等を考慮し、優先順位をつけて行っており、本件のような陳情が提出されても個別ごとに判断することは困難である。